

山 旅

会報 No. 291

好山好山旅会

H. 30. 5



ヨセミテ国立公園

平成30年6月例会山行計画

第一例会	6月3日(日)～4(月)	
上信越	八間山・白砂山	担当者 板橋
第二例会	6月16日(土)～17(日)	
越後	下権現山・巻機山	担当者 木村
第三例会	6月23日(土)	
富士山周辺	三国山・立山	担当者 鈴木

《 丹沢 ミツバ岳 》

3月第四例会

3月31日(土)快晴

参加者 板橋(L)、小野、中村(安)、吉田、木村、蔵 計6名

—板橋 記—

9時35分新松田駅北口、1番乗り場(西丹沢行き)バス発。10時30分浅瀬入口着丹沢湖畔の舗装道路を30分、滝壺橋の標識先の登山口を右に上がる。暗い杉林の急登、歩き始めて30分、ポツリ、ポツリとミツマタが現れる。登山口から1時間で広いミズナラの林、新緑にはまだまだで日当たりがいい。ひと上りすると、登山道の両側はミツマタ畑と云っていいほどのミツマタの群生地。5分で頂上、といっても平地で、頂上らしい所は無い。壊れたフェンスをくぐると富士山が春霞を被りぼんやりと見える。樹高3mの見事に咲きそろったミツマタの下で昼食。2班に分かれて下山した。

☆コースタイム 10:30 浅瀬入口バス停 10:40~11:10 滝壺橋登山口 11:15~12:30 ミツバ岳
13:15~13:50 滝壺橋登山口 13:50~14:20 浅瀬入口バス停
第2班 12:40 ミツバ岳 13:30~14:45 滝壺橋登山口 14:50~15:20
浅瀬入口バス停

☆費用 電車代 新宿~新松田¥772 バス代 新松田~浅瀬入口¥900

《 総会 議事録要旨 》

日時：平成30年4月14日 土曜日 13:30~16:00

場所：としま産業振興プラザ (IKE・Biz) 5階 美術室

参加者：小野、斉藤、吉田、白井、原田、鈴木、池田、木村、小淵、板橋、宮崎、中原
(敬称略) 計12名

議題：

1. 会長挨拶(概略)

昨年度も会山行を幸い無事故で終える事が出来たが相変わらず国内の遭難事故は増え続けている。その中でも中高年層の遭難者が約8割を占めている。難度の高い山や雪山ではなく、日帰りで行く事が出来る低山での遭難が多発しており、昨年末には花の山として人気の有る上野原の坪山で70代3人のパーティーが遭難死している。会員全員が60歳を超え平均年齢が67歳になった当会として今後も無事故で活動が続ける事が出来るよう、日帰り山行であっても十分な装備、体調管理、無理の無い計画などこれまで以上に安全な山歩きを心がけて行きたい。今年度は退会者が多く出たため会員数が35名となった。このままでは更に会員の高齢化、会員数の減少が進むと考えられるため、今後どのような対応をして行くか検討していきたい。

2. 役員交代、退会会員の報告(敬称略)

・平成30年度役員

会長 白井

副会長 清水、木村、土方

相談役 高柳、大田、高橋

会計 吉田(博)

会計監査 斉藤

会報編集 木村

庶務 船生

WEB 木村

リーダー 大田、高橋、清水、川端、白井、原田、鈴木、土方、豊岡、池田、木村、板橋、牛丸、宮崎、中原

・退任役員 高橋(WE B)、瀬川(会計)、吉田(美)(募集)、大平・石栗(以上リーダー)

・退会会員 中村(安)、早川、吉田(美)、竹中、濱田(和)、長谷川、大平、石栗、鈴木(徹)、伊沢

・休会会員 相川

3. 平成29年度活動報告

・計画が中止になった山行が実施26回に対し14回。参加しやすい初級レベルの日帰り山行に参加者が多い傾向であった。

4. 平成29年度会計報告、会計監査報告

・会計担当の吉田さんより平成29年度の収入・支出につき報告があった。

・総会に先立ち、会計監査の斉藤さんから収入支出明細(帳簿)、預金通帳、領収書を確認し、問題が無かった旨の報告を行った。

5. 平成30年度活動方針・活動計画

・関西在住の豊岡リーダーから提案の有った例会案(2案)については、次回の役員会で検討し、何れかに決める。

・リーダーは参加者への装備(防寒具、雨具、食糧、地図・コンパスなど)を徹底させる。

6. スポーツ安全保険について

・全員加入している「スポーツ安全保険:スポーツ安全協会」について、65歳以上は加入区分がBとなり補償額が64歳以下(加入区分C)と異なる(少ない)ので加入区分が変更になった年齢の方は注意。

・個人山行を行っている会員の方が多いので、別途山岳保険には必ず入って欲しい。

<平成29年の山岳遭難発生状況> 神奈川県警、山梨県警

・いずれも過去最多で中高年層の遭難者比率が高く、低山での発生が多い事が特徴。

・最も多い原因が「道迷い」で転落・滑落、低体温症につながっている。

・11月、12月に発生多い。落葉により道が見え難くなり滑り易い事が「道迷い」「転落・滑落」の原因となっている。この時期は日没が早い事、日没後の冷え込みも影響している。

・低山、日帰りという事で照明具、食糧、防寒具、地図を持参せずに日没を迎えてルートを見失い、ビバーク中に低体温症になり死亡するケースも有り。

7. 今後の会の運営に関する意見交換

(1) 山行計画（報告）

- ・計画の魅力をもつ工夫、会員に行きたい山のアンケートを取り計画に反映させる事も必要。
- ・リーダーが報告書を書く事が定着しており負担が増している。写真も含めて参加メンバーへの割振りを行った方が良い。
- ・参加者の感想、コメントをとり報告書に載せるなどして次回以降の山行へ役に立たせる事も必要。
- ・コースタイムは会員の年齢、参加メンバーを考慮してガイドブックの2～3割増しで設定した方が良い。

(2) 山行の安全

- ・個人装備について改めて徹底すると同時に、非常時に備えた共同装備（ツェルト、ガスコンロ、細引き、薬品など）を各パーティーで持つ事も必要。
- ・集合時刻が遅いのではないか。特に秋、冬は日が短いので歩き始めをなるべく早くした方が良い。
- ・リーダーは参加者の中からサブリーダーを指名して先頭を歩いて貰い、リーダーは最後尾を歩いたらどうか。

(3) 会員減への対応

- ・昨年「山と溪谷」への募集広告を出す事を止めたが、他の方法で「好山好山旅会」を知らしめる手段を講じる必要は有る。
- ・「ヤマレコ」の利用が出来ないか。グループとして登録し山行記録を載せる等。
- ・カードの改訂版を作り、山の中や山小屋で配ることも継続したら良い。
- ・毎月の例会が無いこのシステムは平日忙しい人には魅力があるはず。

★4月第一例会の荻野高取山～華厳山、第二例会のサルギ尾根～高岩山、第四例会の毛無山～十二ヶ岳は天候不良のため中止になりました。

★第三例会の坪山は参加者僅少かつ天候不良のため中止になりました。

山旅 No.291 平成30年5月1日発行 発行者 白井 裕 編集者 木村 成雄
発行所 埼玉県所沢市寿町 23-2 グレーシアタワーズ所沢 T-2005 白井方 好山好山旅会
WebSite <http://kozanko.com/>